



本庄市保健センターの事業.....対象者は旧本庄市域にお住まいの人です。

内容	日時	対象	その他
3～4か月児健康診査	5月30日 受付/午後1時～1時30分	平成18年1月生まれ	対象者に通知します。 電話による育児相談も随時受け付けています。
9～10か月児健康相談	5月30日 受付/午前9時30分～10時	平成17年7月生まれ	
1歳6か月児健康診査	5月29日 受付/午後1時～1時30分	平成16年10月生まれ	
2歳児健康相談	5月31日 受付/午前9時30分～10時	平成16年4月生まれ	
3歳児健康診査	5月31日 受付/午後1時～1時30分	平成15年4月生まれ	
BCG予防接種	5月9日 受付/午後1時～1時30分	平成18年1月生まれ	対象者に通知します。 接種可能な月齢は6か月未満です。
コアクラス (育児学級)	5月26日 午前10時～11時30分	2～3か月児と保護者	対象者に通知します。
カンガルー広場 (情報交換の場)	5月26日 午前9時30分～正午	0～2歳児と保護者	おやつを持ち込みはご遠慮ください。
すくすく相談 (育児・栄養相談、計測)	5月25日 午前9時30分～11時30分		前日までに電話予約してください。
おや親タマゴ(全4回)	6月2日・9日・16日・17日 午前9時30分～正午	これからママ・パパになる人	初日の前日までに電話予約してください。17日はできるだけご夫婦でご参加ください。旧児玉町域の人も対象。

児玉保健センターの事業.....対象者は旧児玉町域にお住まいの人です。

内容	日時	対象	その他
3～4か月児健康診査	5月9日 受付/午後1時30分～2時	平成17年12月～18年1月生まれ	対象者に通知します。 電話による育児相談も随時受け付けています。
9～10か月児健康相談	5月9日 受付/午前9時30分～10時	平成17年6月～7月生まれ	
BCG予防接種	5月19日 受付/午後1時30分～2時	平成18年1月生まれ	対象者に通知します。 接種可能な月齢は6か月未満です。 終了後のひよこクラスにもぜひご参加ください。
ひよこクラス (育児学級)	BCG予防接種後に開催します。		
ゆうゆう広場 (情報交換の場)	5月8日 午前9時30分～正午	0～3歳児と保護者	おやつを持ち込みはご遠慮ください。
すくすく相談	5月19日 午前9時30分～11時30分		前日までに電話予約してください。

休日急患の診療

休日急患診療所（本庄市保健センター内 2003）

診療時間 午前9時～午後4時

診療科目 内科・小児科

健康保険証を持参してください。

在宅当番医療機関

診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

5月7日	服部クリニック	本庄市	4671
5月14日	西澤整形外科	上里町	姫0600
5月21日	上武病院	本庄市	0111
5月28日	へんみ眼科医院	本庄市	3702
6月4日	逸見耳鼻咽喉科医院	本庄市	4852

119番は、緊急時（火災やけが人など）の受付専用電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、児玉郡市広域消防本部指令課（1119）でご案内していますので、ご利用ください。ただし、診療科目によっては、県外や児玉郡市以外の病院をご案内する場合があります。

障害者生活支援センター『さわやか』

5620 FAX 5640

同じ障害がある人による相談

肢体不自由の人 随時受付

聴覚障害のある人

視覚障害のある人 10日

理学療法士による相談

身体障害のある人 20日

介助教室

介助の人 27日

もの作りクラブ

身体障害のある人・その家族 26日

絵手紙教室

身体障害のある人・その家族 27日

をご希望の人は事前にご連絡ください。

時間 午前9時30分～11時30分

午後1時～3時

午後1時30分～3時30分



医療メモ

本庄市児玉郡医師会広報部

乳がん検診を受診しましょう

わが国の、乳がん罹患率および死亡率は年々増加しています。乳がんは早期に発見し、治療を行えば、良好な予後と、乳房の温存による生活の維持向上が期待できます。

検診の方法と、対象になる人を教えてください

これまでの乳がん検診は、1987年老人保健事業に基づいて、30歳以上の女性に対して視触診（実際に乳房の状態を見るとともに触ってみて、「しこり」があるかないかを発見する方法）が実施されてきました。その後、2000年からは、視触診とともに、「しこり」を触知しない乳がんを発見するために、50歳以上の女性（と40歳以上の希望する女性）に対して乳房のX線検査（マンモグラフィー）を併用して行う形をとっています。

しかしながら、2002年に実施した、乳がん検診受診率は12・4%（マンモグラフィー受診率は2・1%）と低いものとなっています。

そのため現在では、40歳以上の女性が原則として2年に1回受診することになっています。

検診方法は、乳がんの家族歴や既往歴等の問診のほかに、実際の乳房の状態を観察するために、視触診（乳房・乳房皮膚・リンパ節などの状態観察と触診）とマンモグラフィーを併用して行います。

マンモグラフィーは二重読影（1枚のX線写真を2人の医師が別々にみてチェックをすること）により判定し、受診者に速やかに通知されます。

普段から気をつけておくことはありますか

乳がんは日常の健康管理の一環として、自身の触診による腫瘍（しこり）の発見や定期的なX線検査の受診が大切です。

心配されている方は、乳房疾患を専門としている医療機関の受診をお勧めします。

